

# 黒瀬 重幸 教授 最終講義

## 「空間と社会 “Social Logic of Space” を中心として」

日時：令和2年3月7日（土） 13:30~17:30（予定）

会場：福岡大学中央図書館多目的ホール

参加費：無料（申し込み不要）

司会：宮崎慎也

### ●最終講義プログラム

13:30~13:35	開会のご挨拶	森山茂章（工学部長）
13:35~13:45	黒瀬先生のご紹介	吉澤幹夫（建築学科主任）
13:45~15:15	黒瀬先生最終講義	
15:15~15:25	休憩	
15:25~15:40	ゲストスピーチ	三島伸雄 （佐賀大学教授）
15:40~15:55	ゲストスピーチ	篠崎竜大 （篠崎竜大建築計画事務所代表）
15:55~16:10	ゲストスピーチ	坂井猛 （九州大学教授）
16:10~17:10	テーマ談義（モデレーター：太記祐一教授）	黒瀬重幸 三島伸雄（前掲） 篠崎竜大（前掲） 坂井猛（前掲）
17:10~17:20	まとめの挨拶	太記祐一
17:20~17:30	花束贈呈	
17:30~17:35	写真撮影	



### ●退職記念パーティー（要申込）

日時：令和2年3月7日（土） 18:00~20:00（予定）

会場：スカイラウンジ（福岡大学文系センター棟 16 階）

参加費：5,000 円（一般）、1,000 円（学生）

### ●退職記念パーティー 2次会（要申込）

日時：令和2年3月7日（土） 20:30~22:30（予定）

参加費：3,500 円

会場：モダンタイムス 福岡市中央区今泉 1 丁目 15-4

DSビル 2F TEL/FAX 092-712-6653

### ●退職記念パーティー、2次会のお申し込み（2020年2月17日〆切）

こちらから WEB でお申し込み下さい。

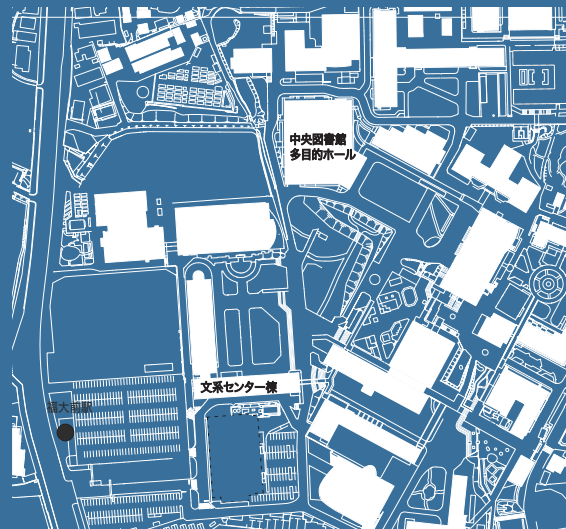
右の QR コードからもお申し込み可能です。

問い合わせ先：福岡大学工学部建築学科事務室

松本・安田

TEL:092-871-6631（内 6543）

MAIL:<chihomiyasuda@fukuoka-u.ac.jp>



# 再スタートを迎えるにあたって

黒瀬重幸

2020年3月末に福岡大学工学部建築学科を定年退職することになりました。思い起こせば、1968年4月に九州大学工学部建築学科に入学して以来、およそ半世紀、50年も経ってしまったこととなります。建築学科を志望する動機は、1964年東京オリンピックの国立代々木プールでした。丹下健三氏のデザインは、当時、中学生の私の心にも響きました。

1968年4月から福岡市の赤坂2丁目という閑静な住宅街の旧家の御屋敷に下宿して六本松の教養部まで歩いて通いました。大学の古い木造の部活動のための建物の前には、朱と黒の墨汁で書き殴られた立て看板が並び、先輩諸氏が拡声器で始終演説をしていました。6月には、米軍のロッキードF4Eファントム戦闘機が箱崎キャンパスの工事中の大型電算機センターに墜落し、九大全体が板付基地撤去のシュプレヒコールに包まれました。学長がデモの先頭に立つという異常事態でした。まるで、現在の香港です。その後、教養部は全学連に占拠され、授業は全面的な休講となりました。そんな中で、私は、原広司氏の「建築に何が可能か」や、サルトルの「嘔吐」やカミュの「異邦人」などを読みあさっていました。「建築に社会を変える力はないのではないか」という思いに囚われていました。

実体としての空間と、観念としての社会との間には隠れた溝があり、その溝を明らかにして空間と社会の間に論理的で意味のある関係性を見いだすことはできないと思い込んでしまったふしがあります。その後、磯崎新氏の「空間へ」に熱中し、ヨーロッパやアメリカの建築を見聞しましたが、この溝が埋まることはありませんでした。1996年から1年間、旧文部省の在外研究員としてオランダのアイントホーフェンに滞在することができました。所謂、都市解析の講座でしたが、時間消費やスケジューリングといった北欧の時間地理学をベースとした研究が盛んに行われていました。オランダの人たちとの交流は楽しく、英語でしか論文も口頭発表もしない彼らは、グローバルな行動が身につけている感じがしました。

2000年度から福岡大学に赴任して2011年度までは飯田利彦先生と、2012年度からは宮崎慎也先生と研究室活動をしてきました。2012年度からは、研究室の新4年生の春休みに読書課題を課すことにしました。その時に、宮崎先生からB. Hillier氏の英文の論文があがってきまして、読んでみると、大変興味深く、それ以来、彼の論文と著作を読みあさってきました。とりわけ、“The Social Logic of Space”は、まとまった著作で、大学院の学生とゼミで輪読を続けました。意外なことに、かつて、空間と社会の間あると感じた見えない溝が、次第に明らかになると同時に、見えない溝を明らかにして空間と社会の間に論理的で意味のある関係性を見いだすことは可能ではないかと思い始めている自分に気付きました。

今回の企画の元を提供し、推進してくれた宮崎先生、創成期の黒瀬研究室を支えてくれた飯田先生に心から感謝の意を表します。

## ○略歴

- 昭和24年 6月  
大分県生まれ 70歳
- 昭和43年 4月  
九州大学 工学部 建築学科  
入学
- 昭和47年 4月  
九州大学大学院 工学研究科  
建築学専攻 修士課程入学
- 昭和49年 4月  
九州大学大学院 工学研究科  
建築学専攻 博士課程入学
- 昭和50年 1月  
1級建築士免許取得  
(建設省)
- 昭和55年 3月  
九州大学大学院  
工学研究科 建築学専攻博士  
課程単位修得満期退学
- 昭和55年 4月  
総合建築設計研究所 入所
- 昭和57年 3月  
総合建築設計研究所 退所
- 昭和57年 4月  
八代工業高等専門学校 土木  
建築工学科 講師
- 昭和62年 9月  
工学博士(建築学)  
(九州大学)
- 平成 4年 4月  
八代工業高等専門学校 土木  
建築工学科 教授
- 平成12年 4月  
福岡大学工学部建築学科 教授  
(現在に至る)